



世界文化遺産登録10周年・羽衣まつり40回記念

みほしるべ企画展Ⅱ「エレーヌ夫人と能『羽衣』」開催！

<p>◆ アピールポイント</p>	<p>今年の10月で40回目の節目を迎える「羽衣まつり」を記念し、戦後間もないパリで能「羽衣」の研究・公演に情熱を捧げ、三保羽衣薪能開催のきっかけとなったエレーヌ夫人の貴重な資料約40点や、1952年の「羽衣の碑」除幕式の記録映像を上演します。</p>
<p>◆ 日時・期間</p>	<p>令和5年9月16日(土)～11月12日(日) 9:00～16:30</p>
<p>◆ 場 所</p>	<p>三保松原文化創造センター「みほしるべ」 1階展示室・通り土間(清水区三保1338-45)</p>
<p>◆ 内容など</p>  <p>エレーヌ・ジュグラリス</p>	<p>■フランス人の舞踊家エレーヌ・ジュグラリス(1916-1951)は、能「羽衣」を演じることに憧れ独学で研究し、1949年にパリでの公演を成功させた後、初演から2年後に病のため35歳の若さで亡くなりました。</p> <p>■彼女の功績を顕彰するため、1952年に三保松原内に「羽衣の碑」が建立され、その除幕式で能「羽衣」が上演されました。32年後の1984年に、第1回羽衣まつり(フランスフェア羽衣まつり)が開催され、再び三保松原で「羽衣」が上演されました。</p> <p>■今回の企画展では、エレーヌ夫人の関係資料の他、過去の羽衣まつりの写真やチラシ等も展示し、40回の歴史を振り返ります。</p> <p>HP：https://miho-no-matsubara.jp/event/archives/20230916kikakuten</p>
<p>◆ 関連イベント</p>   <p>完成イメージ</p>	<p>■講演会「エレーヌ夫人が魅せられた能『羽衣』」</p> <p>内容：「能『羽衣』でつなぐ地域文化の価値創出」</p> <p>講師 ^{さののぼる} 佐野登氏(宝生流能楽師シテ方)</p> <p>「舞踊家エレーヌ・ジュグラリスの生涯と能『羽衣』への想い」</p> <p>講師 ^{わきたやすこ} 脇田泰子氏(椋山女学園大学教授)</p> <p>日時：10月1日(日) 13:30～16:10</p> <p>定員：30名(無料・申込順)</p> <p>申込：9/7(木) 8:00～電話で市コールセンターへ(200-4894)</p> <p>■ワークショップ「扇型の飾りを作ろう！」</p> <p>内容：エレーヌ夫人の使用していた扇の柄等をもとに、和紙や色鉛筆を使って扇型の飾りを作ります。</p> <p>日時：10月15日(日)、29日(日) 10:00～15:00 随時受付</p> <p>定員：各日25名(無料・先着順) ※定員に達し次第終了</p>

別紙資料 無

ぜひ取材をお願いします！

【問合せ】文化財課 三保松原文化創造センター

(清水区三保1338-45)

担当：小林・山田 電話 054-340-2100